

My City Kawaguchi

マイシティかわぐち



5/22(水)

グリーン
カーテン
苗植式

強い日差しを和らげ、室温上昇を抑える効果があるグリーンカーテン。地球温暖化防止にもつながる取り組みとして、戸塚綾瀬小学校の児童たちが奥ノ木市長と一緒に、戸塚環境センターでゴーヤの苗を植えました。



5/18(土)・19(日)

イナパーク春祭り

イナパーク川口で初開催。スポーツイベントや音楽イベント、キッチンカーの出店など、さまざまな催しが行われ、多くの来場者でにぎわいました。



6/2(日) 第47回青少年まつり

キュポ・ラ広場で開催。青少年団体による発表や、ゲームコーナーなどの催しが行われ、子どもたちは楽しい1日を過ごしました。



6/10(月)



フィンドレー市教育長が
市長を表敬訪問

本市と教育分野に関する協定を締結しているアメリカのオハイオ州フィンドレー市。交換留学の再開にあたり、フィンドレー市教育長らが市長を表敬訪問し、交流を深めました。



国民健康保険税の納付は忘れずに



国保マスコット
健康まもるくん

国民健康保険税は、加入者の皆さんが病気やけがをしたときにかかる医療費に充てる大切な財源です。安心して医療が受けられるように保険税は納期限内に納めましょう。

納税通知書は7月中旬に送付

納付書が同封されているかたは、納期限内に市役所や金融機関の窓口、コンビニエンスストア、スマホ決済などで納めてください。

賦課限度額の引き上げ

令和6年度から保険税の賦課限度額が変更になりました。後期高齢者支援金分が2万円引き上げられ22万円となります。なお、医療給付費分と介護納付金分の賦課限度額に変更はありません。

保険税の納付は便利な口座振替で

年金天引きの場合を除き、原則として口座振替による納付をお願いします。納付書で支払う予定のかたには、口座振替の申込書を同封します。ぜひ、この機会に安全・確実・便利な口座振替の登録をお願いします。

法定軽減の拡充

前年の世帯の総所得金額等が一定の基準以下の場合、均等割額が軽減されます。令和6年度から軽減対象範囲が拡大されました。ただし、所得が未申告の世帯は対象外です。なお、軽減を受けるための申請は必要ありません。(下表参照)

軽減割合	7割軽減		5割軽減		2割軽減	
給与所得者等※ 加入者数	0人または1人	以降1人 増えるごとに	0人または1人	以降1人 増えるごとに	0人または1人	以降1人 増えるごとに
1人	43万円以下	—	72.5万円以下	—	97.5万円以下	—
2人		+10万円	102万円以下	+10万円	152万円以下	+10万円
3人			131.5万円以下		206.5万円以下	
以降1人 増えるごとに			+29.5万円		+54.5万円	

※給与所得者等とは

給与所得者
給与収入額が55万円を超えるかた

公的年金等受給者
公的年金等の支給額が60万円(65歳未満)または110万円(65歳以上)を超えるかた

問い合わせ…国民健康保険課 ☎048-259-7669 FAX048-258-5702



みんなでつくる

川口の元気

vol.110

皆さん、こんにちは。

今回は、全国の数ある自治体の中で、本市が「SDGs未来都市」に選ばれたことについて紹介します。

「SDGs未来都市」とは、国がSDGsの達成を通じて持続可能なまちづくりを進めるため、優れた取り組みを提案する自治体を選定する制度のことで、その中から特に先導的な取り組みを「自治体SDGsモデル事業」として選定しているものです。

今回、国に提案した川口市のSDGs未来都市像は、「17色で描く川口の未来～人、自然、文化の豊かさが共生する、いつまでも住み続けたい『選ばれるまち川口』～」として、私がこれまで進めて参りました、子育て支援や地域経済の活性化、カーボンニュートラルの実現を目指す取り組みをはじめ、多文化共生や文化・芸術の高揚などのさまざまなまちづくり施策を、市と市民の皆さんや企業などが連携しながら取り組んでいくことにより、川口の魅力をさらに高めていくというものです。このことがSDGsの達成につながる取り組みとして国から高い評価をいただき、令和6年度の「SDGs未来都市」に選定されるとともに、埼玉県で初めて「自治体SDGsモデル事業」にも選定され、5月23日に行われた選定証授与式において、自見内閣府特命担当大臣より選定証をいただいて参りました。(写真)

また、これに先立ち、市の花である鉄砲百合をモチーフにSDGsの17色を配した、「川口SDGsオリジナルシンボルマーク」を作成しました。これは、川口市立高等学校の生徒さんとのコラボによりデザインしたもので、未来に向けて市全体で一体となって進める川口のSDGsを象徴するものとして、私も大変気に入っております。市民の皆さんにもこのシンボルマークに親しみをもちいただき、日常生活の中でSDGsをより身近に感じていただければと思っております。



SDGs 未来都市
KAWAGUCHI

私は、このたびの選定を大きな弾みとして、今後とも60万市民の皆さんとともに、持続可能な川口の発展と誰一人取り残さない社会の実現を目指し、SDGs未来都市の取り組みをより一層推進して参ります。

※5ページの特集記事も併せてご覧ください。

「17色で描く川口の未来」

—SDGs未来都市として—

川口市長 奥ノ本 信夫



6/2日

歯と口の健康フェスティバル



6月4日～10日の「歯と口の健康週間」に合わせ、西公民館で開催。

歯科医師などによるブラッシング相談や、「歯・口の健康に関する図画・ポスター、標語コンクール」の表彰と作品の展示などが行われました。



5/23木

ヤゴ救出大作戦

今年のプール開きを前に、安行小学校の児童たちが奥ノ木市長と一緒に、プールで生まれ育ったヤゴ(トンボの幼虫)を救出しました。救出したヤゴの一部は、トンボに成長するまで児童が飼育し、自然環境や命の尊さを学びます。

※ヤゴ救出大作戦は市内の他小学校でも実施しています。

5/24金

安行原の蛇造り
(市指定無形民俗文化財)



毎年5月24日に行われる伝統行事。安行原蛇造り保存会の皆さんが、わらで編み上げた長さ10メートルもの大蛇をやぐらへ引き上げて安置し、五穀豊穡・天下泰平・無病息災などを祈願しました。

